

33 観音寺宝篋印塔 (川桁・村北)

川桁観音寺の本堂前にあって、高さ1.8mを計る石造物です。塔身の銘文から応永十八年(1411)に建立されたものと考えられますが、以前は旧観音寺跡にあったもので、相輪と塔身は本来この塔のものではなかったといわれます。相輪は短く、笠の馬耳型の突起は先端が丸まり、浮彫りの蕨手は軽く反転し、塔身にはくぼみがあり、基礎は比較的高く、反花も形式化しており、古式の重厚さが窺えます。

(県指定重要文化財)



35 島田板碑 (磐里・町島田前)

この板碑は島田の墓地内にあり、嘉元三年(1305)に建立されたもので、高さ2.45m、幅1.45mを計ります。

ヤゲン彫りによって蓮座の上に、左側に金剛界の阿弥陀如来(釈迦牟尼佛)、右側に大日如来(大日如来)の種子を祀っています。

(町指定重要文化財)



34 鹿島神社宝篋印塔 (金田・六角)

『新編会津風土記』巻五十に見え、応永年間(1394~1428)のものとして推定されています。古くは金曲山宝性寺にありましたが、現在は鹿島神社境内に移されました。

高さ1.4mを計り、塔身の四面には二重の刻線で輪郭をつくり、蓮座の上に胎蔵界四方の種子が刻まれています。

(町指定重要文化財)



36 釜井板碑 (長田・西畑)

この板碑は釜井の畑地内に建立されていて、正和二年(1313)の紀年が記されており、高さ1.30m、幅1.00mを計ります。左に金剛界(釋迦牟尼佛)、右に胎蔵界(大日如来)の大日如来の種子を蓮座に乗せています。

(町指定重要文化財)

